



日独産業協会  
Deutsch-Japanischer  
Wirtschaftskreis

## 2022 年 活動・財務報告書

NETWORKING | INFORMATION | BUSINESS

日独産業協会(DJW)の活動の目的は、日本とドイツの間の交流の促進にあります。1986年の創設以来、当協会は、両国にとって関心の高い経済関連のテーマや疑問に関して情報を交換し、議論するためのプラットフォームを提供してきました。このプラットフォームをベースに広がるDJWのネットワークの輪は、企業、組織・団体、サービスプロバイダー、政治や学術界の代表、ジャーナリスト、日独ビジネスに興味・関心を寄せる個人、次世代の日独交流を担う若手ビジネスパーソンや学生など多様なメンバーから構成されています。

2022年のDJW会員数は1,011を数え、多くの皆様から積極的に問題提起を頂き、協会の将来の方向性を定めるうえで多大なるご協力を得ました。Squadsやワーキンググループを通して、日独関係に関連する多岐にわたるテーマにおいて、会員の皆様に自らの創意工夫と責任のもとでイニシアチブを発揮し、アイデアを実現して頂くための機会も設け、継続的に活用されています。

当協会は、非営利の登録団体として100%民間からの資金で運営されており、政治的に独立した立場を取っています。これにより、会員やパートナーの皆様、理事メンバーや特別顧問とともに、日独の経済的利害に関わる最新のテーマや展開に迅速に対応し、私どもの活動の枠組みの範囲で取り上げていくことが可能になると考えています。

2022年はなおパンデミックの余波にあり、DJWのイベントもその影響を免れることはできませんでしたが、幸いなことに、再び対面でのイベントを開催できる状況となりました。次ページより、2022会計年度における当協会のプロジェクトについて、詳しく報告申し上げます。

## 活動分野

### イベント

当協会の最も重要な目的は、日独両国間の経済・産業界の連携を強化するとともに、公正かつオープンな協力関係を促進し、それにより様々なレベルにおいて相互理解を深めることにあります。確かな情報の提供、継続的な交流、そして堅牢で長期的視野に立った関係の構築は、互いに学び合い、活発かつ信頼のもとに成り立つ対話を行うための重要な基盤となります。当協会が開催するイベントは、そのためのプラットフォームとして確立されており、DJW の目的を実現し、持続的にその活力を維持する役割を担っています。当協会主催の**イベント**は会員の皆様は勿論のこと、日独の経済交流に関心をお持ちの方々全てに扉が開かれています。

2022 会計年度は、一部なおパンデミックの余波にありましたが、幸いなことに再び対面でのイベントを開催することが可能となりました。開催地域が個別に定めるコロナ対策を遵守しながら、与えられた機会と可能性を活用し、再び多くのイベントを各地で実現することができました。「パンデミック時代」の学びも生かし、現在では、オンライン、対面式、ハイブリッドと、多様なイベント形式を展開しています。

2021 年に Microsoft Teams、Zoom、wonder.me 上でデジタルイベントを 50 回実施したのに続き、2022 年にも DJW は広範に活動を展開し、オンライン、オフラインおよびハイブリッド形式で計 46 件のイベントを開催しました。内容面では、日独両国の経済に影響を及ぼすグローバル規模の課題、いかにサステナビリティと経済価値維持のバランスを取った運営を行うか、航空宇宙産業、経済の推進力としてのポップカルチャー、その他多くの関連テーマを取り上げました。

DJW 主催の 50 件弱のイベントだけでも、参加者数はのべ 1,000 名を上回りました（内訳：ドイツからの参加者 67% / 日本からの参加者 33%、DJW 会員 71% / 非会員 29%）。イベントのハイライトは以下の通りです。開催イベントの一覧および詳細については、本報告書の付属資料をご覧ください。

- 2021 年に始動させた新たなイベント形式「**DJW Spot On!**」を 2022 年も成功裡に継続開催することができました。2022 年 3 月の「DJW Spot On!」は、日独双方のオンライン参加者とオフライン参加者、そして通訳者の各々を複数のコミュニケーション・チャンネルにて相互に結びつけて開催された大規模イベントの先陣を飾るプロジェクトとしての位置付けでした。同イベントでは、京都議定書が採択されてから 25 年という節目に、気候変動対策における日独両国の進捗について探りました。（イベントの詳細は [DJW ウェブサイト](#) からご覧いただけます）
- 10 月には、赤川省吾氏（日本経済新聞）と DJW 理事長ゲアハルト・ヴィースホイが、司会進行の下、日独双方の経済が抱える各種の課題についてグローバルに俯瞰する視点から対談を行いました（イベントの詳細は [DJW ウェブサイト](#) からご覧いただけます）。11 月に開催された第 3 回目の Spot On! では、デューブル沙織（BASF）、池川喜洋（三菱ケミカル）、クリスティアン・ヘラー（Value Balancing Alliance）の 3 氏をお招きし、企業のサステナビリティの取り組みやその成果を、測定可能かつ比較可能な数値で定量化する方法について議論しました（イベントの詳細は [DJW ウェブサイト](#) からご覧いただけます）。
- 2022 年は、航空宇宙を重点テーマに、**DJW シンポジウム**を 2 回（**第 1 弾**、**第 2 弾**）開催しました。具体的には、持続可能性の重要性の高まりに、航空宇宙産業がどのように応えることができるのか、宇宙での使用を前提に開発された素材や製品をいかに地球上で活用していくか、そして、航空宇宙の分野において、日独双方が共に、かつお互いからそれぞれ学んでいくには、どうすればよいか、といった観点から議論を行いました。



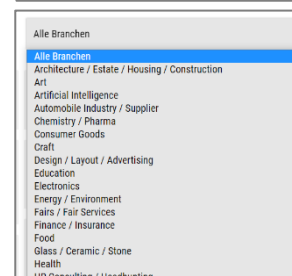
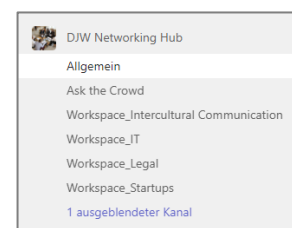
- パンデミックにともなう規制が緩和されたことにより、9 月には、東アジア協会 (OAV) および在日ドイツ商工会議所 (AHK Japan) との協力の下、2018 年から定例開催してきたイベント「**日独ビジネスレセプション**」を再開することができました。晩夏に開催された第 3 回となるビジネスレセプションでは、ラーティングに 150 名のゲストをお招きしてネットワーキングの機会を提供しました。
- 伝統のイベント「DJW 会」では、オンラインとオフラインで開催、デュッセルドルフ、ベルリン、そしてデジタルスペースで、ポップカルチャー、知識移転、ツーリズムをテーマに取り上げました。
- また、DJW「Executive Lounge」や、経済同友会との協力の下で「CEO オンライン・ダイアログ」を本年も継続することができました。
- 2022 年のもうひとつの素晴らしい成果は、**ワーキンググループ**や **Squads** の取り組みの結果をインプットとして、安定的かつ継続的に DJW の活動に取り込んでいけたこと、そして今後もこの流れが続いていだろうことです。このような主体的かつ自律的な協力関係こそが、DJW を意義付けるものであり、プラットフォームやネットワークとしての DJW の価値を際立たせるものなのです。
- 加えて、DJW のウェブサイトやソーシャルメディアチャンネル、ニュースレターでのイベント情報の告知、DJW によるプレゼンテーションやスピーチ、司会、あるいは適任者やコンタクトパーソンの紹介を通して、**DJW 会員および提携団体・企業主催のイベント**を多数サポートしました。
- ベルリン日独センター、各地の経済振興組織や商工会議所、学術・研究機関、独日・日独協会など、**全国および地域レベルで活動を展開する様々な組織**と協力し、継続的にパートナーとのネットワークの輪とテーマの幅を広げていきました。



## CONTACT & INFORMATION PLATFORM

DJW 会員の皆様には、更に以下のサービスを提供しております。

- イベントに加えて、メンバー同士を直接つなぐもうひとつの機会として DJW が提供する「**Networking Hub**」です。Networking Hub のローンチから 1 年が経過し、このデジタルネットワーキング・プラットフォームを利用する会員の数が着実に増加しています。デジタル空間でのワーキンググループの運営は敷居が低く、オンライン上で開催される DJW イベントや交流イベントに関しても、イベント参加者にとってアクセスしやすい環境が整備されました。タグ (地域や分野を超え、検索性をより高めるキーワード) の一層の充実を図ったことで、会員の皆様により的確な形でネットワークを構築していただけるようになりました。また Hub 内では、DJW からの情報や会員の皆様から寄せられたお問い合わせを共有しました。
- **デジタル会員名簿**には、掲載を希望する全会員の連絡先が登録されており、様々な基準に基づいてフィルター機能で絞り込んだり、ソート機能を使って並び替えたりできます。名簿へは、ウェブサイトのパスワードで保護された会員専用ページからアクセスでき、会員の皆様ご自身による編集が可能です。
- 企業会員と組織・団体会員の皆様には、DJW ウェブサイト上で一般に公開される **エキスパートプール**も提供しています。エキスパートプールの掲載情報も、会員専用ページから自由に編集していただけます。サービス業と製造業に分類された会員ディレクトリは、分野別にフィルタリングしたり、その他の基準で検索をかけたりすることができます。また、会員名簿およびエキスパートプールにロゴを掲載し、視認性の向上を図っていただくこともできます (有料)。



- エキスパートプールと**インフォメーションマッピング**との連携により、DJW ウェブサイト上での会員の皆様の存在感を高めていただけます。2021 年のマップサイトのローンチ以来、エキスパートプールに登録された会員は、**企業および組織・団体会員の国・地域別マップ**上に自動的に掲載されるようになりました。**ビジネス・学術・政治分野で活躍する会員**や**パートナー**を紹介するマップでは、日独交流の分野で活動を展開する組織や団体の概要を拠点別にご覧いただけます。**キャリア・マッピング**は、ドイツと日本でのキャリアパスを示すもので、各組織の事業内容に沿って分類されています。この他にも複数のマップが計画されており、2023 年中の公開を予定しています。
- 日独**インフォメーションプール**には、DJW チームや理事メンバー、会員、パートナーからの幅広いビジネス関連情報、出版物や記事などが掲載されています。
- 更に、企業会員の皆様には、オンライン上の**ジョブプール**に求人情報を掲載し、条件に合致する候補者探しに役立てていただきました。2022 年にジョブプールに掲載された、企業会員からの求人件数は 255 件となり、2022 年も前年比で大幅な利用増となりました。また、**LinkedIn** と **Twitter** で毎週求人情報を動画形式で配信することで、ジョブプールへの注目度が明らかに高まりました。
- DJW からの最新情報や、日独の文脈における政治経済の展開を評価・分析した**理事長ゲアハルト・ヴィースホイ**によるコラムが掲載された毎月の **DJW ニュースレター**も、例年通りメールでお届けしました。DJW からのお知らせやコラムを掲載したニュースレターは、DJW ウェブサイトにも掲載・保存されています。加えて、DJW 理事メンバーを皆様によりよく知っていただくために、**名誉理事長ルプレヒト・フォンドラン**をトップバッターに、インタビュー連載も開始しました。また、DJW ニュースレターを通して、会員やパートナーの主催イベントや、会員企業の求人情報なども、読者の皆様に毎月ご紹介しました。



## 広報活動

イベント、そして交流や情報交換プラットフォームが提供する多様な機会は、日独両国で、私たちの活動の中核を成しています。これらは、おそらく、DJW の活動の眼に見える、最もわかりやすい形であると言えます。2022 年、私たちは協会の活動趣旨を実行に移すため、以下のような追加プロジェクトにもエネルギーとリソースを注ぎました。

### • 倫理行動規範

2022 年の DJW 総会で承認された「**倫理行動規範**」は、当協会のすべての関係者の業務の指針となる、自主的かつ自発的に選択された行動規範をまとめたものです。本規範の策定は日独両国の DJW 会員との協業を通して行われ、Squad ミーティングの場で出された専門知識とアイデアを集約し、デュッセルドルフの DJW 事務局と共同で取りまとめました。DJW の倫理行動規範は、日独両国の文化的、そして法的な違いあるいは特徴を考慮しており、今後も DJW の活動およびネットワークの核として機能する会員規約を補完するものとして位置付けられています。

### • パンフレットおよびデザインの統一

DJW の活動を体験するだけでなく、文字通り「目に見える」ものにするため、2022 年に新しい DJW のイメージ・パンフレットを作成しました。この新しい印刷物には、DJW について、その歴史と活動範囲、提供するサービスと、関係者、会員、パートナーの紹介が含まれています。DJW の活動の宣伝に協力してくださる多くの関係機関に当該パンフレットを郵送するとともに、イベント会場でも参加者にお渡し致し



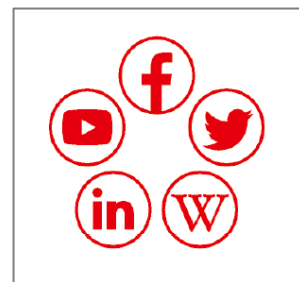
ました。また、入会を検討中の皆様に、DJW をより身近に感じてもらううえで、コンパクトな情報冊子としての役割も果たしています。

DJW の視認性向上と同時にデザインの統一を図る目的で、2022 年にはデザインの要素を再考しました。その結果は、繰り返し用いられる協会のロゴ入りグッズや印刷物などに既に取り入れられています。たとえば、司会進行用のカード、DJW ならびに協賛会員バナー、ピンバッジなどを作成しました。今後、資料持ち帰り用のキャリーバッグ、A4資料用のポケットファイル、封筒なども作成していく予定です。



### ● ソーシャルメディア

DJW をより多くの方々に知っていただく可能性について語るうえで、ソーシャルメディアの存在を無視することはできません。DJW は、Facebook、LinkedIn、YouTube、Twitter でこれまで一定の足場を気づいてきており、2022 年もそれぞれのメディアチャンネルで認知範囲を拡大することができました。特に LinkedIn は、私たちのコンテンツに適したチャンネルとして確立されており、そのことは、活発なやりとりや、投稿の共有数の多さにも表れています。



### ● ドイツ連邦議会および連邦政府に対する利益代表としてのロビー登録

ドイツ連邦政府に対するロビー登録により、「利害関係者の代表者が[議会や連邦政府の]政治的意思決定の過程に及ぼす影響力の構造を、透明性をもって追跡する」ことが可能になります。当協会が目指すのは、経済、政治、学術、そしてメディアを結びつけることであり、関係者間の直接的な対話がそのための最も有効な手段であると考えており、議会や政府の代表者との対話や交流も当然その一環です。意思形成や意思決定のプロセスの透明性を確保するというロビー登録の趣旨は、私たちの活動が求める基準とも完全に合致しており、だからこそ、ロビー活動を行う団体としての登録は理に適ったものであると言えます。

### ● DJW ウェブサイトの最適化

当協会が提供するサービスの幅が広がり、多様性が増すにつれ、DJWウェブサイトとその操作性に対する要求も高まってきました。そこで2022年はまず、ジョブプールの最適化に着手しました。ジョブプールを定期的に利用しているDJW会員を中心にSquadミーティングを開催し、求人広告のページを会員企業が自ら入力・管理するという可能性について議論を行いました。本プロジェクトは2023年も継続され、同年中に実行に移される予定です。



また、プログラマーのサポートを得て、イベント告知の最適化も実施しました。ハイブリッド型のイベントへの参加希望者は、ドロップダウンメニューから選択のうえ参加登録を行えるようになり、バックエンドでは、最大参加者数に応じて異なるランディングページに登録者を誘導することができるようになりました。DJWのすべてのプロジェクトと同様、常にウェブサイトをモニタリングし、今後も、新たな要求に対してできるだけ迅速に対応するよう努めてまいります。

## 組織

### 理事メンバー

- Prof. Dr. モーリッツ・ベルツ フランクフルト大学教授(フランクフルト)
- ニコル・バステアン Handelsblatt 外国部部長(デュッセルドルフ)
- Dr. ユルゲン・グロスマン 元 RWE 最高経営責任者、Georgsmarienhütte GmbH 出資者(ハンブルク)
- 古森重隆 富士フィルムホールディングス株式会社最高顧問、全国日独協会連合会(VJDG)会長(東京)
- 國部毅 株式会社三井住友フィナンシャルグループ取締役会長(東京)
- Dr. シュテファン・マイアー ドイツ国際政治安全保障研究所所長、科学政策財団(SWP)事務局長(ベルリン)
- ヴィルヘルム・メームケン ECOS Consult 有限会社代表取締役(オスナブリュック)
- 中根猛 [2022年10月逝去] 元・在ドイツ連邦共和国特命全権大使、外務省科学技術協力担当大使、ベルリン日独センター(JDZB)総裁、全国日独協会連合会(VJDG)会長代行(東京)
- 成川哲夫 DJW 副理事長、三菱地所株式会社社外取締役、岡三証券株式会社社外取締役(東京)
- 信谷和重 日本貿易振興機構(JETRO)副理事長(東京)
- ヴィルフリード・シュミット 元・大和コーポレートアドバイザー顧問(ベルリン)
- Dr. 神余隆博 関西学院大学理事・教授、元大使(兵庫)
- Dr. フォルカー・シュタンツェル 元大使、独日協会連合会(VDJG)会長(ベルリン)
- マンフレッド・シュターン 元 YASKAWA Europe GmbH 代表取締役(エシュボルン)
- 立川雅和 デュッセルドルフ日本商工会議所事務総長(デュッセルドルフ)
- 筒井義信 日本生命保険相互会社代表取締役会長(東京)
- 植田大 日本貿易振興機構(JETRO)デュッセルドルフ事務所長(デュッセルドルフ)
- Dr. ルプレヒト・フォンドラン DJW 名誉理事長、独日協会連合会(VDJG)名誉会長(デュッセルドルフ)
- Prof. Dr. フランツ・ヴァルデンベルガー ドイツ日本研究所(DIJ)所長(東京)
- ゲアハルト・ヴィースホイ DJW 理事長、B. Metzler seel. Sohn & Co. AG パートナー(フランクフルト・アム・マイン)
- ヴィースホイ弘貴 メッツラー・アセット・マネジメント株式会社 代表取締役社長(東京)

## 事務局(デュッセルドルフ / 東京)

当会計年度の事務局構成は次の通りです。

デュッセルドルフ事務局:事務局長1名(フルタイム)／会員関連業務・サービス担当スタッフ2名(時短勤務)／イベント・コーディネーション担当スタッフ1名(時短、1月～7月)／チームアシスタント(時短、8月～12月)

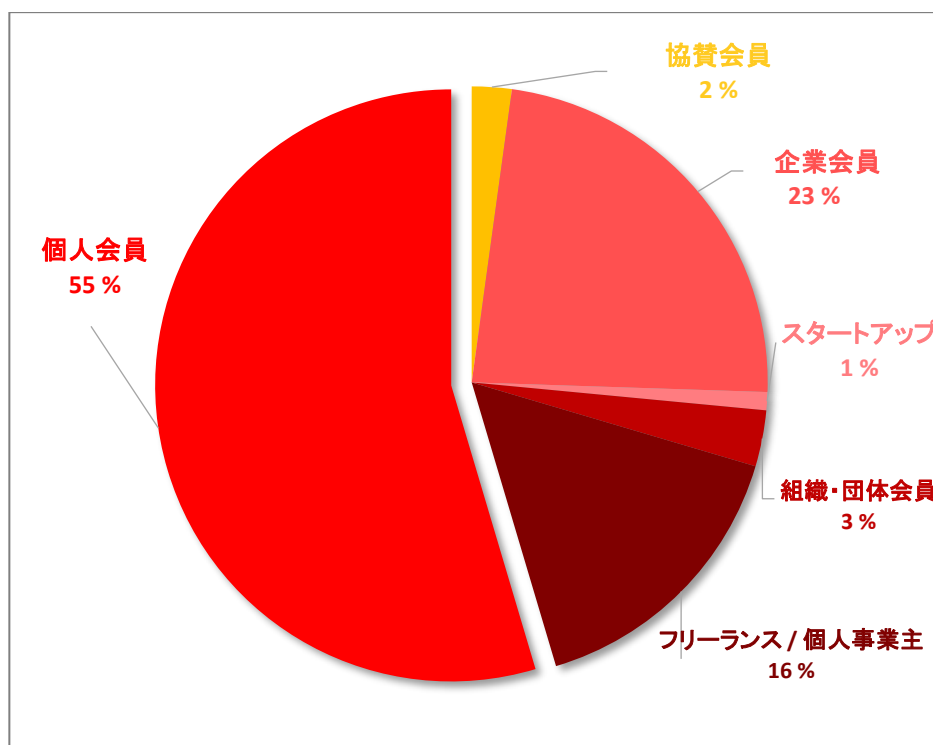
東京駐在事務所:駐日代表1名(フルタイム)

その他:プロジェクトアシスタント(時短、11月～)

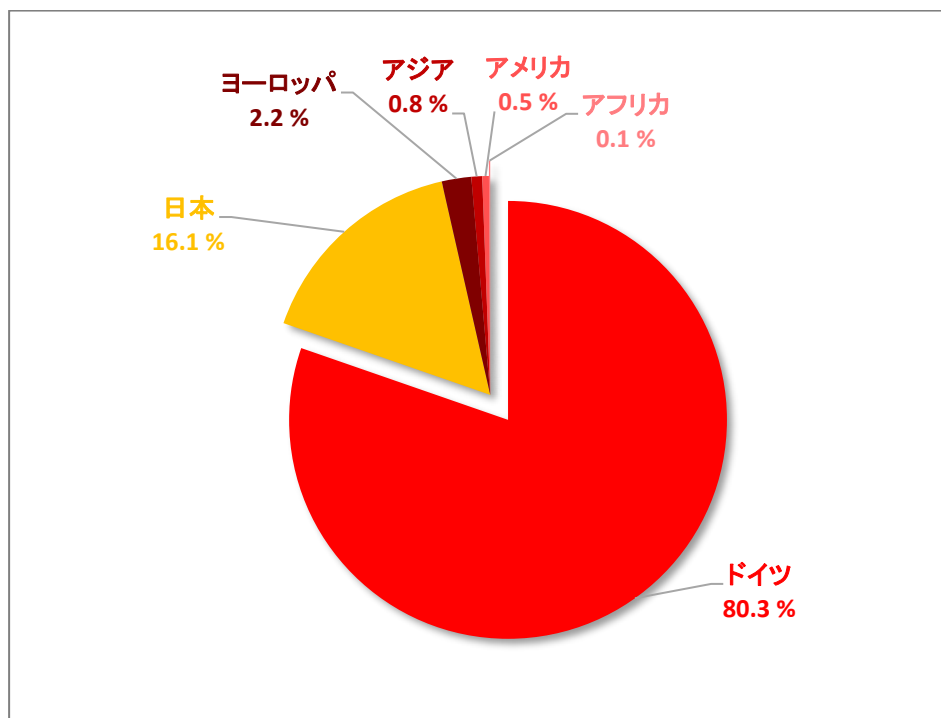
## 会員構成の変化

当協会の会員は、日独両国の企業、ビジネス関連サービスプロバイダー、経済振興団体、政治や学術分野の代表、ジャーナリスト、フリーランサー、個人事業主、スタートアップ、次世代の日独経済を担う若手ビジネスパーソンや学生などから構成されています。

### DJW 会員の内訳(会員カテゴリー別)



## DJW 会員の内訳(国・地域別)



2022 年には、新たに合計 59 の正規会員(内訳: 法人会員 18、スタートアップ企業 6、組織・団体会員 1、個人事業主・フリーランサー10、個人 24)にご入会いただきました。

さらに、大変光栄なことに、DMG 森精機株式会社(東京)を協賛会員としてお迎えすることが叶いました。これにより、2022 年は合計 22 社の協賛会員より特別なご支援をいただくことができました。

## 2022 年協賛会員


その結果 2022 年末時点の会員総数は、1,011 となりました(前年末:1,054)。企業、組織・団体、個人事業主・フリーランサーそして個人の皆様から成る包括的なネットワークを有する当協会は、全国規模で活動する最大の日独プラットフォームとなっています。国別の内訳では、ドイツ国内の会員が大多数の 80%を占めています。日本を拠点とする会員の割合は 16%で不変となっています(その他の国が合計 4%弱)。

2022 年の新規会員が挙げた入会の理由やきっかけで最も多かったのは、インターネットでの検索と DJW ウェブサイトの訪問でした(22%)。それに続く入会経路が、DJW チーム、理事メンバー、特別顧問との個別コンタクトによるものです(合計 20%)。更に、DJW のパートナーやコンタクト先(17%)、既存会員(10%)が、それぞれの影響の及ぶ範囲の関係者に DJW への入会を勧めてくださいました。2022 年に開催された対面イベントの数は、パンデミック前の数年間に比べて著しく減少したにもかかわらず、DJW が提供するイベントや交流の機会を評価して入会を決めた新規会員も少数ながらもいました(5%)。またそれぞれ同程度の割合で、ジョブプールの枠組み内で提供されるサービスに魅力を感じた(5%)、ソーシャルメディアを通して DJW を知った(5%)という新規会員もいます。

この数字を既存のサービス・ポートフォリオへの追い風として、特にイベントや、ジョブプールなどのウェブベースのサービスを、ウェブサイトの一層の最適化とあわせて今後も推し進めていきます。また、LinkedIn や Twitter を中心とした昨年のソーシャルメディア戦略が、会員数の増加にも反映されていることは嬉しい限りです。

なお、会員数の増加は、2022 年の年次総会で決議された 9 件の除名処分を含む 78 件の退会(どちらも 2023 年より有効)により相殺されました(前年の退会数:98 件)。

## 財務・収支管理

ここにお示しする財務収支関連情報は、当協会の財務収支について外部の方々  
に公開し、より認知度を高めて頂くための重要項目であり、そのために必要な数値  
情報を把握頂くことが目的です。2022 年には、より一層督促や請求の回数を増や  
し、データベースを絶えず更新してきた結果、2021 年と比較して、未払未収金の金  
額をさらに削減することができました。また、資金管理プロセスのデジタル化も引続  
き推進し、例えば、2022 年 1 月以降、支払確認書の送付はデジタルベースのみで  
実施されるようになりました。

以下の簡略化した収支概要をご覧ください。2022 年度の当協会業績として単年収  
支赤字を記録した結果となっております。

### 2022年収支報告簡易版<sup>1</sup>

Einnahmen (EUR)   収入 (EUR)		2022	2021	Ausgaben (EUR)   支出 (EUR)		2022	2021
<b>Mitgliedsbeiträge   年会費</b>		305.650	307.681	<b>Personal- und Bürokosten   人件費・事務費</b>		254.210	260.840
- Reguläre Mitglieder   正会員		174.700	188.783	(z. B. Gehälter, Büroinfrastruktur   給与、事務 消耗品費など)			
- Förderer   協賛会員		106.500	107.000	<b>Veranstaltungen   イベント</b>		68.624	17.881
- offene Beitragsforderungen   未納会費分		23.940	10.000	(z. B. Catering, Raummiete, Reisekosten   ケータリング、会場使用料、出張経費など)			
- Währungsausgleich   通貨調整		510	1.898	<b>Abschreibungen   減価償却</b>		10.971	5.274
<b>Spenden   寄付</b>		0.00	0.00	(Sachanlagen, GWG, Forderungsverluste   損耗のための控除、少額固定資産、売掛金損失)			
<b>Veranstaltungen   イベント</b>		43.961	11.346	<b>Sonstige   その他</b>		58.926	38.999
(Sponsoring, Teilnahmebeiträge, Schulungen   スポンサー費、参加費、研修費)				(z. B. Bank, Buchführung, Versicherung, Beratung, Repräsentations- und Öffentlichkeitsarbeit   銀行手数料、会計事務、 保険、コンサルティング料、外交・広報活動費)			
<b>Sonstige   その他</b>		11.791	12.277				
(Kooperationen   協力費)				<b>Summe   合計</b>		<b>392.731</b>	<b>322.994</b>
<b>Summe   合計</b>		<b>361.402</b>	<b>331.304</b>				
<b>Vereinsergebnis 2022 (Negativbetrag)   単年収支(赤字)</b>		<b>31.329</b>					

Hinweis: Zahlen wurden qualitativ zusammengefasst und gerundet.  
注: 本報告では収支の大項目のみ掲載し、また漏れは切り捨てて表示しています。

当協会固定費については、**会費収入にて賄うことができます**。安定した会員基盤、  
ドイツや日本でのネットワークの拡大は、従来通りの頻度、並びに質の高い枠組み  
で活動を行うための大前提となります。DJWの更なる会員獲得や協賛会員獲得に  
繋がる人脈を獲得することは、これからも私たちの目標です。やや深刻に受け取る  
べきは、当年度の新規入会者数は例年を下回ったことです。その理由として、全般  
的な経済が不安定な状況にあることが挙げられることは確かですが、当協会の主  
柱をなす対面式イベントの数が減少したため、個別の対話の場や直接の会員獲得  
の機会が限られてしまったことが挙げられるかと存じます。

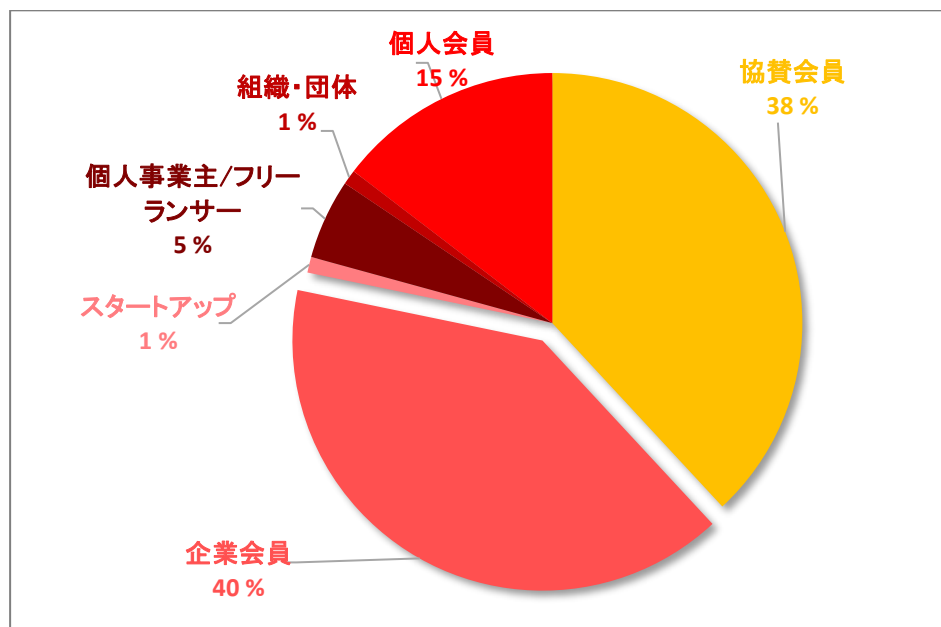
新規入会者数は、前年度とほぼ同数です。2022年の会員総会での決議にて連絡  
が取れなくなった会員を除名するの必要がありましたが、全体として例年より退会が  
少なく、激動の時代でも会員が当協会活動に信頼を寄せてくださっており、当協会  
の提案を評価し続けてくれている証だと言えます。

また、より大規模で存在感のあるイベントが再び開催されたことは、**イベント支出が**  
2021年と比べて増加したことの理由ですが、人と人を結びつけ、国際理解に貢献  
するという当協会の目的をより集中的に果たすことができたという意味で、喜ばし  
いことであると考えています。

<sup>1</sup> ここに掲載されている値は、簡易的に概略値にて記載。例年通り、詳細な損益計算書と、資産・負債の明細を  
記載した貸借対照表を税理士事務所に依頼して作成。

さらに、当該年度は、当協会のパブリックイメージ強化にも大きな投資を行いました。DJWのイメージ・パンフレットが印刷され、初版の1,000冊は同年中旬には、すでに全て配布し終えることとなりました。さらに、2つのロールアップ、ピンバッジ、司会用カード、DJWチーム名刺のデザインもプロに外注いたしました。

### DJW会費収入の内訳(会員カテゴリー別)



会員、パートナー、スポンサーの皆様との協力関係は、当協会のテーマや活動内容に係わる多彩なポートフォリオを実現する上で、引き続き重要な役割を担っています。また、長年の協力関係に加え、新たなターゲット層を開拓し、特に日本におけるDJWの認知度をさらに高めていくような結びつきも構築しています。

## 終わりに

DJW会員の皆様

この2年間は、パンデミックの状況下で、皆様との対面での交流の機会が限られたこと、協会への新規入会数が抑制的であったことなど、様々な困難があったことは否めません。また、個人対個人の出会いとネットワーキングを活動の主軸とするDJWが、一時的とはいえ、直接的な交流という協会の根幹に関わる活動をデジタルの世界へ移行せねばならなかったという意味でも、乗り越えねばならない課題は大きかったと言えます。オンライン上での交流が「機能」すること、時間とコストを節約でき、すでに確立されたつながりを維持するうえで良い方法であることは、誰もが認めるところではないでしょうか。その一方で、新たな出会いから関係を築き、新規のアイデアを生み出し、プロジェクトのつながりを構築していくためには、(今なお)対面の形が最適であることを、パンデミックの期間を通して再認識することができました。DJWとしては今後、それぞれに優位性があるオンラインでの交流とオフラインでの交流、双方の形を発展させ、同時に両者の長所を融合させていきたいと考えています。

パンデミックを乗り越える過程で得られた手応えを更に挙げるならば、DJWのデジタル・プラットフォームに対するニーズがより高まったこと、ハイブリッド・イベントの運営ノウハウを蓄積できたこと、そして、ソーシャルメディア上でのリーチを人数、範囲ともに拡張できたことです。以上はすべて、熱意あふれる5名のスタッフから成る小規模ながら機動力あるチーム、そして幅広い分野で活躍される会員の皆様の存在があってこそ成し遂げられました。

この場をお借りし、私どもの旅路を伴走し、共同プロジェクトを支援し、会員としてDJWのネットワークをダイナミックかつ包括的、そして持続可能なものにしてくれるすべての人々に感謝を申し上げます。これからも皆様とともに、日独友好の架け橋を築き、オープンで公正、そして透明性ある対話を続けていければ幸いです。

DJW事務局一同を代表し、心からの感謝を込めて。

事務局長

アンネ・ポムゼル

2023年4月、デュッセルドルフ

(署名済み原本はDJW事務局にて保管)

## 参考資料 – 2022 年開催イベント一覧

- 2022.01.19. Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“**
- 2022. 01.27. Online, DJW Socializing** zum Thema Jahrespläne
- 2022. 01.27. Online, Japamburg, DJW** als Unterstützer
- 2022.02.02. Online, Interkulturelle Japan-Schulung** für ein DJW-Mitgliedsunternehmen
- 2022.02.24. Online, DJW Socializing** zum Thema Wintersport
- 2022.03.09. Hybrid (Düsseldorf | Online), DJW Spot On!, 25 Jahre** nach dem Kyoto-Protokoll
- 2022.03.24. Online, Future Mobility Hub Yokohama,** DJW als Unterstützer
- 2022.03.31. Online, DJW Socializing** zum Thema ‚Hanami‘
- 2022.04.01. Düsseldorf, DJW Members for Members,** AR-Biennale von Canon Deutschland
- 2022.04.07. Online, CEO Online Dialogue,** Kooperation DJW und Keizai Doyukai
- 2022.04.07. Ratingen, DJW „Executive Lounge“**
- 2022.04.27. Online, DJW Asa no Kai,** Rethinking Travel
- 2022.04.27. Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“**
- 2022.04.28. Online, DJW Socializing** zum Thema lebenslanges Lernen
- 2022.05.09. Hybrid (Bremen | Online), DJW-Mitgliederversammlung**
- 2022.05.09. Hybrid (Bremen | Online), DJW-Symposium** zum Thema Luft- und Raumfahrt
- 2022.05.17. Online, Leading the Way to Hydrogen,** DJW als Unterstützer
- 2022.05.18. Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“**
- 2022.05.25. Düsseldorf, Wirtschaftstag Japan,** DJW als Unterstützer
- 2022.06.02. Online, DJW Socializing** zum Thema Kreativität
- 2022.06.04. Düsseldorf, DJW Hiru no Kai,** Wirtschaftsmotor Popkultur
- 2022.06.15. Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“**
- 2022.06.30. Online, DJW Socializing** zum Thema Mobilität
- 2022.07.06. Online, DJW Squad Meeting „Jobpool Improvement“**
- 2022.07.12. Online, Treffen der DJW Working Group „Information Technology“**
- 2022.07.20. Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“**
- 2022.07.22. Augsburg, LGBTQ+ in Japan und Recht,** DJW als Unterstützer
- 2022.07.28. Online, DJW Socializing** zum Thema Urlaub
- 2022.08.21. Osaka, Piano Recital,** DJW als Unterstützer

- 2022.08.25. Online, DJW Socializing** zum Thema Kulinarik
- 2022.08.26. Online, Deutschsprachige Japanologentag 2022**, DJW als Unterstützer
- 2022.09.07. Ratingen, 3. Empfang der deutsch-japanischen Wirtschaft**, Kooperation AHK-OAV-DJW
- 2022.09.12. Tokyo, Eröffnung des AsiaBerlin Summit 2022** DJW als Unterstützer
- 2022.09.13. Berlin, DJW Hiru no Kai**, Wissenstransfer
- 2022.09.15. Osaka, DJW Roundtable**, Startups
- 2022.09.29. Online, DJW Socializing** zum Thema Heritage
- 2022.09.29. Hannover, DJW "Executive Lounge"**
- 2022.10.08. Kassel, DJW Career Talk**, Kooperation mit der Connichi 2022
- 2022.10.25. Düsseldorf, DJW Spot On!**, Globale Herausforderungen der deutschen Wirtschaft, Kooperation mit JETRO, JIHK, Hojinkai Frankfurt
- 2022.10.27. Online, DJW Socializing**, Future of Work, Kooperation mit DJI
- 2022.11.08. Online, CEO Online Dialogue**, Kooperation DJW und Keizai Doyukai
- 2022.11.10. Hybrid (Frankfurt | Online), DJW Spot On!**, People – Planet – Profit, Kooperation mit ECOS Consult
- 2022.11.18. Tokyo, DJW Socializing**
- 2022.11.22. Tokyo, DJW-Symposium** zum Thema Raumfahrt
- 2022.11.24. Online, DJW Socializing** zum Thema Wintersport
- 2022.12.01. Online, Treffen der DJW Working Group „Intercultural Management“**



**Deutsch-Japanischer Wirtschaftskreis e. V.**

日独産業協会



**デュッセルドルフ事務所**

Graf-Adolf-Strasse 49  
40210 Duesseldorf  
Tel.: +49 (0)211 - 99 45 91 91

**東京駐在事務所**

東京都千代田区麹町 2-10-3  
エキスパートオフィス麹町 415 号室  
Tel.: +81 (0)90 - 67 47 74 90

Fax: +49 (0)211 - 99 45 92 12

Web: [www.djw.de](http://www.djw.de)

E-Mail: [info@djw.de](mailto:info@djw.de)

